

SHIOGAMAKKO

通信 Vol.14

しおがまっこ通信 2023

発行/塩竈市秘書広報課 対象小中学生 2,337人
 〒985-8501 小4/404人 中1/369人
 塩竈市旭町1-1 小5/390人 中2/389人
 電話022-355-5728 小6/380人 中3/405人
 (R5.9/1時点)



塩竈ワーカー
Shiogama Worker
 塩竈ではたらく

み そししょう ゆじょうぞうぎょう し ごと
「味噌醤油醸造業」ってどんなお仕事?
 しおがま しない み そししょう ゆじょうぞうぎょう おお た よ
 塩竈市内にある味噌醤油醸造元「太田與
 はちろうしやうてん はたら おお たまこと おし
 八郎商店」で働く太田真さんに教えてもら
 いました。

おお た よ はちろうしやうてん おお た まこと
太田與八郎商店 太田 真さん

Q.お仕事の内容を教えてください

み そししょう ゆ じょう せいぞう し ごと
 味噌醤油などの発酵調味料を製造する仕事です。
 み そ ししょう ゆ はつこうしょくひん こうじきん こう ぼ にゅうさんきん
 味噌と醤油は発酵食品なので麹菌や酵母、乳酸菌などさ
 まざまな菌を上手に利用しながら製造します。
 きおん しつど しぜんかんきょう せいひん ひんしつ さゆう
 気温や湿度などの自然環境に製品の品質が左右されるの
 で、きちんと管理し、できあがったものをさまざまな容器
 に詰めて販売します。
 しない しやうちゅうがっこう きやうしよく どうてん み そ ししょう ゆ つか
 市内の小中学校の給食に当店の味噌や醤油を使ってもら
 っているので、知らない間に口にしていると思いますよ。

Q.やりがいや大変なことを教えてください

くら なか れいだんぼう なつ あつ まふゆ さむ みず
 蔵の中は冷暖房がないので夏の暑さや真冬の寒さ、水の
 つめ こと た しみ そししょう ゆ
 冷たさは堪えますが、それが無いとおいしい味噌や醤油は
 できません。伝統食
 ひん つく たいへん
 品を造るのは大変で
 すが、つくりがいは
 とてもあります。



Q.こだわりを教えてください

み そ ししょう ゆ づく いま
 味噌や醤油造りは、今はほとんどがステンレスやプラス
 チック製の容器での仕込みとなってしまいました。しかし、
 せい よう き し こ
 木桶という昔ながらの容器を使って仕込むことにこだわ
 っています。木桶で仕込むという事は大変なことも多いです
 が、とち ふうど かんよ くら す きん たいへん
 土地の風土が関与し、蔵に住む菌たちがこの環境で働
 いて、塩竈なら
 じ
 ではの醤油(地
 しやうゆ つく
 醤油)を造って
 います。



Q.やって良かったと思うことは?

しやうひん た きやく ちやくせつ い
 商品を食べたお客さまから直接「おいしい!」と言われ
 た時はとても嬉しく思います。そういう評価をいただける
 と、従業員とともに喜びを分かち合い、もっとおいしいも
 のを造ろうという気持ちになります。

豆知識

はつこうしょくひん からだ よ き
 発酵食品は「体に良い」と聞いたことはないでしょうか。発酵とは大豆や米、麦などを微生物の力を使って栄養
 からだ とり こ じやうたい こと い か へん
 を体に取り込みやすい状態にしていく事と言い換えられます。例えば、朝に味噌汁を食べると、味噌から体を動かす
 ひつよう えいようせいぶん ひつ す さん ちやう きやうしやう かつどう
 ために必要な栄養成分、必須アミノ酸などをすぐに腸が吸収し、活動をサポートしてくれます。

しおがまを みてもみよう



しおがまししゅつしん ざいじゅう が か つりふね ふ き こ し
 塩竈市出身・在住の画家 釣舟富紀子さんを知っていますか。釣舟さんの描く作品
 わたし く しおがま えが えが わ か こ げんじつ
 は、私たちが暮らす塩竈が描かれていることは分かるのに、過去なのか現実なのか
 みらい し せ かい しおがま かん
 未来なのか、なんだか知らない世界の塩竈のように感じます。
 つりふね さくひん しおがま み
 釣舟さんの作品から、もっと塩竈を見てみませんか。



①旧公民館裏 (本町)

しおがまし すぎむらじゅんびじゅつかん こうみんかんもともち
 塩竈市杉村悖美術館・公民館本町
 ぶんしつ よこ こ みち えが
 分室横の小道をモチーフに描かれて
 いま す。塩竈には、このような小道
 さかみち こみち
 や坂道がたくさんあります。ほかに
 うみ しま じんじや とりい ござせん
 も、海や島、神社の鳥居、御座船の
 ほうおうまる とり つりふね
 鳳凰丸のような鳥など、釣舟さんが
 えが さくひん しおがま
 描く作品には、たくさんの塩竈らし
 いぶぶん ち
 い部分が散りばめられています。
 お母さんやお父さん、おじいちゃん
 やおばあちゃん、年代の異なる人
 たちと話してみると、あなたが知らない
 塩竈を知ることができるかもしれ
 ません。



②やみ市 (海岸通)

しおがま かいがんどおり
 「塩釜海岸中央鮮魚市場」(通称「闇市」)がモチーフ
 の作品です。闇市は、海岸通にありました。
 ひがしにほんだいにしんさい つなみ ひざい げんざい しよく ちゅうしん
 東日本大震災の津波で被災し、現在は、食を中心とし
 た商業施設「直会横丁」になっています。昔は、このよ
 うな個人店がぎゅっと並び、市場のようになっていた
 という様子が描かれています。



③浪切不動尊 (権現堂)

ごんげんどう なみきり ふどうそん ごんげんどう
 権現堂にある浪切不動尊に向かう隧道が描かれていま
 す。鳥居と隧道は、赤坂交差点から利府方面に向かう途
 中、左手側に見えます。見たことがあるけど、行ったこ
 とがない人も多いのではないのでしょうか。
 鳥居の下には、カナヘビが描かれています。よく見る
 と、色々な動物が他の絵にも描かれていますよ。



④勝画楼 (宮町)

しおがまし しょうがろう みやまち
 塩竈市有形文化財「勝画楼(法連寺跡)」が描かれて
 います。昔の写真や「料亭として使われていた勝画楼は
 とともにぎわっていた」という記録が反映されています。
 ほかに、作品中央に描かれた石造の建物は何なのか、
 勝画楼のそばに描かれた灯台がなぜ描かれているのかを、
 調べてみると新しい発見があるかもしれません。

⑤本町商店街 (本町)

いざりびしょうてんがい もともち
 漁火商店街という架空の商店街が描かれています。
 よく見てみると、女の子が着ている体操服は第一中学校
 の青地に赤白ラインの入った体操服に、背景の一番高い
 建物は市役所番館庁舎に似ています。
 そのほかにも、釣舟さんの絵には、さまざまな仕掛け
 があり、塩竈らしい部分を見つけることができます。



つりふね ふ き こ
釣舟 富紀子さん
 が か
画家

作者インタビュー

ま ち の ち っ かい ぶ ぶん を 見 て、 感 じ て、 想 象 す る
 ち い き かんが
地域のことを考えるきっかけになれば

わたしは、よく古い道を描きます。古ければ良いというわけではなく、
 その道が新しくなる過程を感じながら描いています。例えば、古い
 道に災害対策でさまざまな構造物ができる時、まちの方々の工夫
 が反映されています。そういう良い町にしていこうという、住んで
 いる人たちの試行錯誤を、実際に歩きながら感じています。
 どんなところに皆さんが興味をもてるものがあるかわかりません。
 まちの成り立ちや、どんなお店があるとか、そこでどんな人が働い
 ているとか、いろんなものを見回しながら生活すると、いろんな発
 見ができて、日々楽しくなると思いますよ。



▲権現堂の軒並み⑥
 ▲亀井邸越しの旧公民館分室⑦

未来へ羽ばたけ！
しおがまっ子！

「職場体験」

秘書って？ 広報って？
どんなお仕事？

みなさんは、将来の夢や目標を持っていますか？
市内各中学校では、将来希望する仕事や興味のある仕事を体験する「職場体験」を行っています。
今回は、7月3・4日に行われた玉川中学校の「職場体験」を通して、塩竈市秘書広報課のお仕事を紹介します！
秘書広報課では、市長・副市長のサポートや「広報しおがま」の発行、市ホームページ・SNSの発信、シティプロモーションなどを行っており、この『SHIOGAMAKKO通信』も発行しています。

秘書室

佐藤光樹市長と市内の公園を視察しました

市長の言葉（考え）を
しっかりメモ。時には
自分の意見も伝える

市民の皆さんが
使いやすい公園に
したいね。



市長がスムーズに動けるように
スケジュールをしっかりと把握

職場体験をしてみても…

初めは、緊張しました。秘書の
お仕事は、市長のスケジュール管
理などが大変だなと思いました。
広報では、Instagramの取
材体験ができて良か
ったです。



玉川中学校2年
及川はなさん

広報係

塩竈市公式Instagramで情報発信しました

塩竈の藻塩を使ったジェラートの味を写真と文章で伝えよう



及川さんが投稿した記事
は市公式Instagram
から確認できます



募集

塩竈のいいところを発信しよう！

“塩竈の秋” インスタキャンペーン

みなさんが自慢したい塩竈を撮って、Instagram
で発信しませんか？

MVP受賞者を塩竈寿司海道にご招待します！

応募作品で作品展の実施も予定しています。

応募：11月30日(木)まで



☎ 秘書広報課広報係 ☎ 022-355-5728

観光のしおがま写真コンクール

自然・名勝・行事などを題材にした観光写真をお待ち
しています！

スマートフォンやジュニア部門もあるので気軽に参加
してください。

応募：12月28日(木)まで

☎ 塩竈市観光案内所 ☎ 022-362-2525